

磐城時報

編輯部 石城郡平野町四十四番地
印刷部 石城郡平野町四十四番地
電話 磐城 二五五
代印部 石城郡平野町四十四番地
電話 磐城 二五五
廣告部 石城郡平野町四十四番地
電話 磐城 二五五
電話 磐城 二五五
電話 磐城 二五五

平全町を挙げて 結核豫防の大宣傳

宣傳ビラ數萬枚を撒布 けふ第三回結核豫防デー

けふ二十七日は第三回結核豫防デーで平町では町役場、警察署等が主催となり、各種団体と打合せを行つた協定事項に基づいて大々的の豫防宣傳を行つた。平第一、平第二、平商業學校、藤田、平陽等公私立校では夫々結核豫防デーの趣旨徹底の講演を行ひ、体育唱歌を合唱し、平衛生會、平醫師會、平在郷軍人分會、平町青年團、平第一小學校少年赤十字團、縣衛生課、平産婆看護婦學校、石城産科婦科看護婦學校等では夫々宣傳ビラを製作して各町衛生區長をして各戸に配布せしめ、又平警察署、平町役場では聯合して自動車六臺を配布したが、又平警察署、平衛生課は聯合して自動車を廻り、宣傳ビラを撒布した。けふ撒布した宣傳ビラの趣旨左の如し。

◎縣衛生課

- ▲肺病の痰は：火なき爆裂彈なり
- ▲精神の健全体力の強剛は：最良の武装なり
- ▲文明人は：路面に痰を吐かず
- ▲早く：治療すれば癒る
- ▲食事は：規則正しくよく咀嚼

◎石城産科看護婦學校

- ▲清き空氣
- ▲精神の健全体力の強剛は：最良の武装なり
- ▲肺病の痰は：火なき爆裂彈なり
- ▲蠅は：病毒の配達人なり
- ▲黄金の光より太陽の光なり
- ▲平産婆看護婦學校

◎平町衛生會、平醫師會

- ▲生命を奪ひます
- ▲結核は五分間毎に一人以上を殺すわけです
- ▲恐るべきは結核病、講ずべきはその豫防法
- ▲豫防法
- 一、日光に親しむことは健康の第一要諦
- 二、身体的休養と睡眠とは健康の要素
- 三、安くて營養のある食物を摂取することが大切
- 四、飲食物に注意して胃腸を丈夫にすること
- 五、身体を鍛練して抵抗力を増す
- ▲健康美、いつも愉快な日を送り
- ▲平在郷軍人會、平青年團
- ▲亡國病結核と戦へ
- ▲各員奮闘努力せよ
- ▲恐るべき結核の豫防法五ヶ條
- 一、新鮮なる空氣、日光に親しむ事を第一とすべし
- 二、營養を充分に運動を第一とすべし
- 一、盃のやりとり、路上に咯たんを放出する如き悪習の改良を第一とすべし
- 一、結核は不治の病にあらず、治療を第一とすべし
- 一、早期診断、早期治療、此れ豫防の第一とすべし
- ▲一日の豫防は十日の治療に優る

◎石城産科看護婦學校

- ▲肺結核は
- ▲結核の多少は文明の尺度なり
- ▲結核は身を亡し家を亡し國を亡す
- ▲献杯は肺結核の渡船
- ▲痰は痰壺の中に
- ▲早く治療すれば好く癒る
- ▲安全第一
- ▲身体鍛練

湯本町入山炭礦労働争議は度々報れる罷業労働者の數について確の如く兩者とも持久戦に入り、實なる警察當局の調査によれば解決するに豫想をゆるさぬ百六十名でそのうちには過半数に於いて、會社側に於いて誠意を求めた三十七名の労働者もは飽まで聲明した如く強硬な態度を加算しての計算であるから現在度を持し、一步も譲らざる罷業團の同炭礦の従業員で罷業しての切り崩しをなしてゐるが、そのものは僅百廿名内外であると

入山の労働争議 争議團の足並崩る 罷業坑夫百三十名内外で 出炭量も漸次増加

湯本町入山炭礦労働争議は度々報れる罷業労働者の數について確の如く兩者とも持久戦に入り、實なる警察當局の調査によれば解決するに豫想をゆるさぬ百六十名でそのうちには過半数に於いて、會社側に於いて誠意を求めた三十七名の労働者もは飽まで聲明した如く強硬な態度を加算しての計算であるから現在度を持し、一步も譲らざる罷業團の同炭礦の従業員で罷業しての切り崩しをなしてゐるが、そのものは僅百廿名内外であると

湯本町入山炭礦労働争議は度々報れる罷業労働者の數について確の如く兩者とも持久戦に入り、實なる警察當局の調査によれば解決するに豫想をゆるさぬ百六十名でそのうちには過半数に於いて、會社側に於いて誠意を求めた三十七名の労働者もは飽まで聲明した如く強硬な態度を加算しての計算であるから現在度を持し、一步も譲らざる罷業團の同炭礦の従業員で罷業しての切り崩しをなしてゐるが、そのものは僅百廿名内外であると

自然消滅か 養鷺同業總會

川筋議員選挙は二十五日四倉町役場で行つたが有権者四十五名長谷川勇太郎氏當選せり。

髮結、産婆を荒す 大詐欺漢捕はる

去る二十日頃から石城地方産婆まで逃走した處を四倉署に捕はる。髮結業者宅を訪れ巧みな詐欺を以て目下住所不定無職千葉縣和泉郡生れ上野啓太郎(四〇)と言ひ産婆或は髮結宅を訪れ「ドロンコ」結婚(或は産婆)が「あるので頼まれて来た」と欺き停車場まで連れ出し、買物をするのに金が不足したから石城地方に入り込み木村某外四ヶ所で詐欺を働いたもので

湯本町長等出縣し 救済方を陳情

湯本町では入山炭礦の争議發生以來は争議を口實に昨年来の決以來營業其他に大影響を感じ過渡をすらすらな者あり困窮の程結立替させそのまゝ逃走した般緊急町會を招集し争議區域を度はむら労働者以上のものがのであるが、二十六日午前平町縮小して貰ひ度いと警察當局に二名は廿六日出縣し川淵知事並陳情した事既報の如くであるが同町は殆んど炭礦生活者のみをに嚴重警察部長を訪問して救済を許取られた報に接した平署で相手に營業してゐる者が多いのを求め同時に此の際一時的ななは兼てから捜索中の犯人であつ及び齋藤巡査の祝賀等あり終りに最近の不景氣で買掛代金は二ヶ月乃至三ヶ月位殊に争議發生決して欲しいと調停を依頼した捜索中の處午後五時頃久ノ濱町三時散會せり。

漁業組合表彰式

漁業組合表彰式は廿四日午前十時より事務所を開き組合長及び齋藤巡査の祝賀等あり終りに最近の不景氣で買掛代金は二ヶ月乃至三ヶ月位殊に争議發生決して欲しいと調停を依頼した捜索中の處午後五時頃久ノ濱町三時散會せり。

小川筋議員選挙

川筋議員選挙は二十五日四倉町役場で行つたが有権者四十五名長谷川勇太郎氏當選せり。

養鷺同業總會

川筋議員選挙は二十五日四倉町役場で行つたが有権者四十五名長谷川勇太郎氏當選せり。

自然消滅か

川筋議員選挙は二十五日四倉町役場で行つたが有権者四十五名長谷川勇太郎氏當選せり。

髮結、産婆を荒す

去る二十日頃から石城地方産婆まで逃走した處を四倉署に捕はる。髮結業者宅を訪れ巧みな詐欺を以て目下住所不定無職千葉縣和泉郡生れ上野啓太郎(四〇)と言ひ産婆或は髮結宅を訪れ「ドロンコ」結婚(或は産婆)が「あるので頼まれて来た」と欺き停車場まで連れ出し、買物をするのに金が不足したから石城地方に入り込み木村某外四ヶ所で詐欺を働いたもので

